## 令和4年度(2022年度)市民公益活動センター事業の実施状況

公募により選定した指定管理者「NPO 法人市民ネットすいた」により、以下の事業を実施

#### 1 施設の使用許可業務

会議室、事務ブース、メールボックス、ロッカー、物品棚の使用許可及び使用料の徴収

### 2 相談事業(随時)

- (1) 一般相談:市民公益活動団体の運営に関する相談、市民公益活動への参加や市民公益活動団体による支援を希望する市民からの相談等(相談 239 件)
- (2) 専門相談: リクエストベースで相談者と専門相談員との日程調整を実施
- (3) アドバイザー派遣:市民公益活動促進補助金交付団体に対するコンサルティング、その他団体運営における課題解決について伴走支援
- (4) ボランティアコーディネーション:単発短時間で取り組めるプチボラ(年間延べ10名)、使用済切手・葉書の収集ボランティアチーム「あつめーる」

#### 3 情報提供・広報支援

- (1) 市民公益活動団体の基本情報 市民公益活動内容等の届け出のあった団体の情報の公表による広報支援。2年に1回のガイドブックを500部発行。
- (2) イベント・ボランティア募集情報

ニュースレターを郵送(450 か所)する際、市民公益活動団体のチラシを同封するサービスを実施。また、交流スペースでチラシやパンフレットの配架、ポスター掲示を実施(956 件)。メールマガジン、WEB サイトなどで情報を適時掲載。

## 運用媒体

- a ウェブサイト:センターの利用案内や事業実施に関する情報、団体支援などに関する情報を掲載
- b ニュースレター:センターの事業報告及び講座・イベント等の案内、特集記事を掲載、4 回発行(各 2,000 部)。ウェブサイトでも公開
- c メールマガジン: センターの事業案内、助成金情報、市民公益活動団体等のイベント情報、ボランティア募集情報等、月1回発行。登録者数 708 件。
- d SNS: LINE 公式アカウント センターの事業案内を月1回。Facebook センターの事業案内、市民公益活動団体の情報。
- e 動画配信チャンネル:eNカレッジすいたの告知動画、みんなのSUITA DAYのレポート動画

# 4 講座・研修

講 座 名		実施回数・内容	
ボランティア・NPO 初歩講座	12 回	少人数の受講者を対象に市民公益活動の基本的事項を解説、個別相談にも対応。(オンライン参加者 10 人)	36 名
eN カレッジすいた	6 旦	地域人材育成を目的に連続講座として開催、フィールドワークも取り入れた。	65 名
法人化講座	2 回	公益活動団体の法人化の支援を図るとともに、これから公益活動に取り組んでいく方の法人化への理解を深めるための講座を開催。	3名
団体運営講座	6 旦	市民公益活動団体のマネジメント力等の強化や、活動に役立つスキルの向上を目的に実施。(オンライン参加者2人)	57名
DX 推進講座	4 回	自治会を対象に LINE の活用方法について学ぶ講座を会場を 4 地域に分けて実施。	27 名
まちづくり講座	1回	南吹田で民間が取組むリノベーションまちづくりをテーマとして開催。	9名
シチズンシップ育成事業	通年	青少年ボランティア活動を促進するため、青少年サポートプラザ、社会福祉協議会と連携し会議 や研修の場を設けた。また、大学と協力しテーマカフェを開催、ボランティア体験・インターン シップの受入れ等を実施。	_

# 5 交流・連携促進

交流・連携事業名		実施回数・内容及び目的	
市民公益活動のフェスタ (みんなの SUITA DAY)	5 回	市民公益活動と縁がなかった市民を対象に、市民公益活動団体と接点を持つことや、まちづくりの魅力について知ってもらう機会として、企画から当日の運営まで市民や市民公益活動団体が主体的に参画できるような場を設定し実施。まるたす広場でモバイルこたつを設置する試みも。当日来場者967名、出展19団体260名。	1, 281 名
テーマカフェ	9 回	気になる話題や世間のトレンドなどをテーマに、自由に意見交流することで、地域や社会のことについて身近に感じてもらう場を提供。 テーマ:ヤングケアラー、フードバンク、地域ねこほか(オンライン参加者 11 人)	114名
団体交流会	2 回	北摂 5 市の市民活動センターと連携しテーマ型の団体が市域を越えて交流する機会を提供。また、まちづくりをテーマにした交流会を開催。	37 名
共催事業	通年	市民公益活動団体などからの申し出に応じて共催・協力・後援事業として団体とセンターが連携。吹田災害支援ネットワークの運営。シビックテックの促進に取組んだ。	_

### 6 調査研究

5年毎の定点調査として、市民公益活動団体を対象とした実態調査を実施

# 7 施設運営

- (1) 利用促進
  - a おすそわけマーケット: おすそわけからはじまる地域コミュニケーションとして実施。1342件
  - b 市民ギャラリー:交流スペースに作品を展示したい団体・個人に場所を提供
  - c 中学生・高校生にセンターの存在や利用方法を知ってもらうため、交流スペースに自習スペースを設置
- (2) 利用者懇談会:施設利用者にセンターの運営や利用、サービスに関しての御意見を伺い、運営に反映。4回開催。

# 8 自主事業

- (1) 北摂地域無料法律相談 月2回の法律相談の開催をサポート。
- (2) オンライン支援 センターの会議室利用者に対するオンライン機器の貸出やサポートを実施
- (3) 市民公益活動団体の主催する研修会への講師派遣(5件)